

Excerpt - Prophet's Conference, December 2000

Copyright 2014 Sirius Disclosure

2000年12月預言者会議からの抜粋

著作権 2014年 Sirius Disclosure

([SiriusDisclosureのウェブサイトより](#))

以下はカリフォルニア州パームスプリングスで開催された2000年12月預言者会議において同15日に行なわれたグリア博士の講演を抜粋したものである。

私はこの若いご婦人の質問にお答えしたいと思います。とても重要な質問です。私がそれは重要な点だと思える理由はこうです。私たちは意識の発達を遂げるための長い時間を持っているかもしれませんが、しかし、私たちがこの生物圏を破壊しているやり方を改める時間は、急速に失われつつあります。ですから、私たちが緊急に対処しなければならないのは、この問題だということです。“火急の用事のあるときは、大事なことも後回し”という言い習わしもあります。これこそが、私たちが意識の発達と共に、まさにこの技術的能力を世に出すために、政治家、科学者、発明家など、あらゆる人々と一緒になって懸命に取り組もうとしている理由なのです。

しかし、この惑星上に持続可能で平和な文明を築き上げる技術的能力は、今日のいわゆる公の普通社会には存在しません。その技術的能力は、闇のプロジェクトの中にあります。そしてこの技術的能力は、あなたや私のお金で賄われたものなのです。私は理論や単なる推測にもとづいて言っているのではありません。これは私たちが知っていることであり、証明することもできます。さて、これを社会に引き出すにはどうしたらよいでしょうか？

この技術の公開を遅らしている、とても強力な国際的グループがあります。彼らがそうする理由は、“大変だ、そんなことをしたらカトリック信仰が崩壊する、神学理論が崩壊する、哲学が崩壊する、それはパラダイムの破壊者だ”、そのようなことはありません。私たちは、エネルギー部門と呼ばれる、私たちの経済における年間6兆ドルの部門のことを語っているのです。私たちが知るように、それは終わりを迎えることになるでしょう。そしてそのことは、地政学その他の観点から、決して小さなことではありません。誰がその質問をしたとしても、これらは実際的な面での大変重要な問題です。なぜなら、私を含めてETとコンタクトしたことがある多くの人々の経験からさえも、ETたちがきわめて強い懸念を持っている事柄があるからです。電離放射線(*放射能)、大量破壊兵器、生物圏の崩壊、不必要な毒性化学物質の使用、1950年代に廃止すべきであったしそうすることができたはずの内燃機関などです。

これらは重要な問題です。なぜなら、確かに思想の革命やパラダイムには数十年、数世紀、数万年、数十億年の時間がかかるかもしれません。しかし、ガイア=地球は、過去100

年間に受けてきた酷使に、さらに 20 年間耐えることはできないからです。残りの 80 年間はないのです。私たちは、これから 20 年以内には崩壊の終端速度に達するだろうことを知っています。ですから、私と共に働いている人々は、この問題を解決しようと急いでいるのです。

ですから、もし皆様がこの分野に関心を持ち、貢献することができるなら、私たちにご連絡ください。しかし、これは取り組まなければならない問題です。なぜなら、皆様は長い時間をかけて哲学的な思索をすることはできますが、結局のところ私たちは皆、子供たちに渡す世界を持ちたいと望んでいるからです。私は 4 人の娘たちに、持続可能で、差し迫った地球物理学的崩壊に直面していない世界を渡したいと思います。

(訳： 廣瀬 保雄)